

だいが musubu, tsunogoru, daigo-gakuen

だいが学園のこと、 知っていますか？

生協ショップで販売されているドーナツ。それらがどのような経緯で皆さんの手元に届いているか知っていますか？ 今回、京大生に大人気の菓子類を製造している京都障害者福祉センター「京都市だいが学園」さんにお邪魔し、代表の方にお話を聞いて来ました。これを読めば、だいが学園の奥深さを知れること間違いなし！（雛鳥）

だいが学園とは？

正式名称は「社会福祉法人京都障害者福祉センター 京都市だいが学園」。さまざまな障害をもった「利用者」さんが働いています。ほかには、利用者さんの仕事をサポートする「職員」さんの存在も。

@時計台ショップ



@吉田ショップ



Information

社会福祉法人京都障害者福祉センター
京都市だいが学園

住所：〒601-1344
京都市伏見区醍醐辰巳町15
TEL：075-571-7216

▼Webページ



（理・1 鴨川）
（私は共西前がお気に入り；編）

京大生協で販売されている だいが学園の商品

だいが学園といえば、美味しそうな菓子類。京大生なら誰でも一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか？ これらの商品を編集部員の推しコメントも交えて紹介します！ この中からぜひ好きな商品を見つけてみてくださいね。



オールドファッショ

定番の美味しさのオールドファッショ。だいが学園で最も人気な商品と言っても過言ではありません。

しらすの
推し！

抹茶ファッショが美味しすぎて毎週食べてます。優しい甘さの生地とチョコのバランスが絶妙。ぜひ一度は食べてほしい。



もちり

もちもちとした食感が魅力。口の中が幸せいっぱいになります。

みぎおにぎ
推し！

一粒ずつ食感を楽しむのが好きです。王道のチョコはもちろん、無性に食べたくなるイチゴもおすすめ。



焼きドーナツ

プレーン、抹茶、ショコラなどのフレーバーが展開されています。ふかふかした食感と、米粉由来の優しい甘さがたまりません。

雛鳥の
推し！

初めて食べたときから虜です。私の推しは抹茶。濃い抹茶の味が広がって至福のひとときを味わえます。



マフィンケーキ

時計台ショップで販売されているドーナツ以外の菓子類。チョコマフィンケーキもあります。

雛鳥の
推し！

ドーナツ以外の商品も間違いなく美味しいです。ほかにはパイやメロワッサン、単位クッキーなども販売されています。

※単位クッキーはテスト期間の7月・1月限定

ブランドマークの裏バナシ



ドーナツ＝輪っかなので、「みんなでつながろう」ということをアピールしています。また、古代サンスクリット語で「サルピルマ」を書いてあって、「醍醐味」「最上の」という意味があります。「醍醐味」は醍醐地域で生まれた言葉ということもあり、私たちがなりたい目指せる最上の味を目指したい！ という気持ちをのせています。

京都市だいが学園
谷口さん

はみだし
すてーじ

後期は空きコマが多いので有効活用したいです！
⇒カフェ巡りとか映画観に行くとか、合間に色々できそうですね！

（医・1 レゼ）

（午前休にすると、昼前に起きる怠惰な習慣がつくよ！；編）



覗いてみよう！ だいが学園

利用者や職員の皆さんはだいが学園で
いったいどのようなお仕事をしていますの
でしょうか……？ 少し覗いてみましょう！

製造

京大生の皆さんにお馴染み、生協ショップで販売されているだいが学園のドーナツ。1つずつ丁寧に製造・包装され、私たちのもとに届いています！ また、後に紹介するカフェふらっとで主に販売されているパンも製造されています。

ちなみに

◀週1回買うレベルで焼きドーナツが大好物の筆者。何個かいただけてウキウキ。



▲パン工場のような。季節・気温・湿度に応じて、肌感覚を頼りに製造されています。微細な判断が必要な作業です。



▲ドーナツの包装作業をしている皆さん。シールの貼り方の規格を揃えることで、利用者さんも職員さんも作業がしやすいそう。

ちなみに

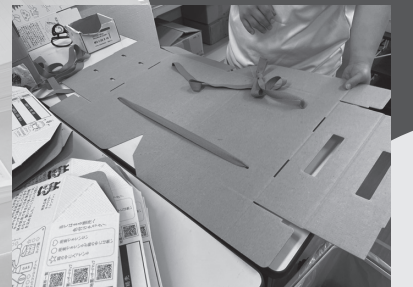
新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、分散休憩をとる工夫を施しています。お昼ご飯を食べたり、お茶を飲んで休憩したり。

▶食堂のようす。利用者さんの数が設立当時より大幅に増えたため、1度の利用人数を分散しないと入らないそう。

食堂



軽作業



▲防災グッズの入れの紐を通すようす。器用さが必要な難しい作業。



▲レターセットの枚数を数えて、袋に入れます。



▲そして、レターセットの入った袋にシールを貼ります。

CAFE & SHOP ふらっと



▲イメージキャラクター・ハッピーくん（右）とゆめちゃん（左）が描かれた、ふらっとのシンボルマーク。

住所：〒601-1344
京都市伏見区醍醐辰巳町7-1
TEL：075-571-7216
（京都市だいが学園共通）
営業日時：月～金曜日
9:00～16:00（L.O. 15:30）

電話予約がおすすめ！



▲店内のようす。ドーナツやパンが並べられています。



▲モーニングやランチをいただくことができます。美味しう。

2018年にオープンしたカフェ。子どもからお年寄りまで、障害があってもなくても「ふらっと」気軽に訪れてほしいという願いが込められています。

▶ブックエンドを活用した支援ツール。アイスコーヒーの量り方が視覚的に認識できるようになっています。



高齢者施設

高齢者施設での配膳、下膳や共有部分の清掃も積極的におこなっています。



清掃活動

紅葉シーズンになると落葉で覆われてしまう遊歩道や、参拝客がたくさん訪れるシーズンのお寺の清掃活動をしています。



月1回、余暇を楽しむプログラム。利用者さんにアンケートをとって内容が決められています。

余暇支援

「1対1でヘルパーさんと出かけたことはあるけど、一緒に働く仲間とも出かけて楽しい時間を共有したい。」そんな声にお応えしました！



▲余暇支援でおこなったボウリングの際の写真。楽しそう。

その他

だいが学園を飛び出した活動も。利用者さんや職員さんどうしの仲の良さが伝わります。

はみだし
すてーじ

最近よく虫に遭遇します……（しかも室内）
⇒わかります。バイト先の店内で大きめの芋虫が伸び縮みして歩いていたときは恐怖でした……

（文・1 梅ゆき）
（ほんまにやめてほしい；編）

はみだし
すてーじ

読書は苦手ですが、読書の秋ということで、まずはカフカの変身を読んです（10月現在）。
⇒虫になるやつですね！ 自分の身にもし起こったら、と想像したら本当に怖い

（文・1 飲むヨーグルト）
（無事読み終わりましたか？；編）



京都市だいが学園園長 谷口隆之さん

まず、京都市だいが学園の事業内容について教えてください。

京都市だいが学園は、社会福祉法人京都障害者福祉センターという法人が運営している事業所の1つです。現在は計40名の利用登録があり、知的障害の方がたくさん通所されています。

だいが学園では「就労移行支援事業」と「就労継続支援B型事業」の事業運営をおこなっています。「就労移行支援事業」とは、一般企業等に就職するための支援をおこなう事業。それに対し「就労継続支援B型事業」はだいが学園を職場として働き続ける支援をおこなう事業です。最近ではさまざまな民間企業が障害福祉事業に参入されており、利用者の方がビジネスマナーを習得できるように訓練する事業所もあります。これに対して、だいが学園では、製菓・製パンや喫茶店などといった実体験を通じて、今日より明日、明日より明後日と日々共に成長しながら、働く力を養っていくのが特徴だと思っています。

どのような経緯で、京大生協での販売に至ったのですか。

設立当時の2003年には、スーパーマーケット向けにパックドーナツを製造していました。しかし薄利多売の事業ですので、利益が全然なかった時代が続いていました。

2011年前後から、ミスタードーナツさんと同じドーナツの製造機器を導入したことで、さまざまな形のドーナツが作れるようになりました。同時に製粉や油もリニューアルして、品質がかなり向上しました。それを踏まえ、「5個入って100円」のような単価を抑えた従来の取引は難しくなってきたため、新たに大学生協さんを中心とした営業活動を始めました。さまざまな取引先を開拓していきたいなという中で、やはり日本最高峰の京都大学にある、京大生協さんとお取引できないかなと思っていたんですが、敷居が高すぎて。そのときたまたま、関係者の中に、京大生協に勤められている方と知り合いの方がいて。その方を介して相談を始めていきました。その後、京大生協さんに向けてプレゼンをおこなったりして、2015年4月にお取引を開始することができました。

京大生協ではどのような商品が販売されているのですか。

京大生協さんでお取引させていただいているのは基本的に菓子類のみです。ただ、パン類の中で「メロワッサン」だけは入り込ませていただいております(笑)。

また、テスト期間に京大オリジナル商品が作れないかと京大生協の方からご相談いただいて、2018年から「単位クッキー」も販売させていただいております。脳を活性化させるような成分を使っているので、「頭良くなるかも!」っていうような位置づけで謳っています。実はこのロゴ、私がデザインさせてもらったんですけど、京大さんのクスのノキのロゴを真似てるんですよね(笑)。テスト期間限定なんですが、おかげさまで単位クッキーをお買い求めいただく方が本当にたくさんいて、毎回ほぼ売り切れているんじゃないかなと思っています。単位クッキーは、ほかの大学生協さんでは販売されていません。完全に京大生協オリジナルの商品です。



▲単位クッキー。毎年7月と1月に生協ショップで販売される。



地域の人々を結ぶ、利用者の方々をつなげる、そんな場所であるために

だいが学園の地域的なつながりについても教えてください。

だいが学園のある醍醐地域は、福祉教育機関が非常に整っています。だいが学園が地域住民の中の関わりの1つとして機能していて、周りの機関や地域住民と学園の利用者さんが関わりを持っている実感があります。

だいが学園の取り組みとしては、まず1つに「ふらっと相談Cafe」を開催しています。いきいき市民活動センターの方に来ていただいて、地域住民の方の相談に乗っていただく場を設けています。また、介護予防という形で、高齢者の方に向けた健康体操をおこなっていたり。ほかには、スーパーが遠くて買い物に困っている方々のために、駐車場をお貸しして、京都生協さんに移動販売に来てもらっています。

最後に、だいが学園が目指している像、そして昨今の福祉的な課題について教えてください。

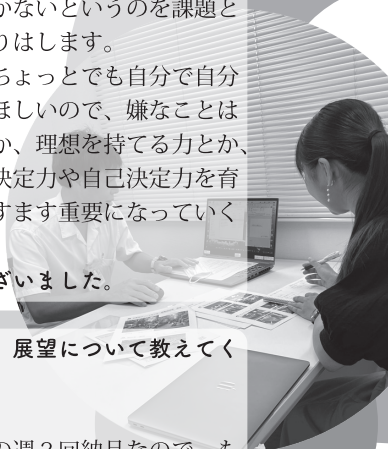
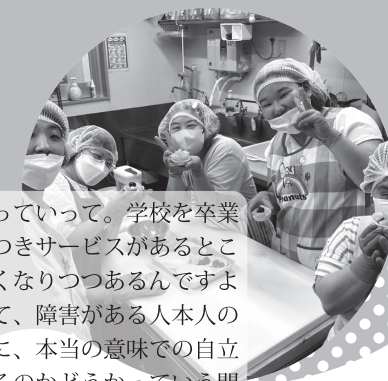
私たちが目指しているのは、かつてよく言えば「コミュニティブリッジ」という役割です。要は、「ふらっとに行けば何かがあるぞ」「困りごと聞いてくれるんちゃうか」みたいな位置づけになりたいと思っています。いろんな人の力や助けを得ながら、私たちなりに地域の役に立てるような役割を担わせてもらいたいなと思って。

また、最近の福祉施設のサービスが良くなることも多様化してきて、利用者さんの力自体を過剰サービスで奪っているところがあるんですね。具体的には放課後等デイサービスの送迎があったり。以前は、障害のある人が自力でバスや電車を使って事業所に通わなあかんかったのが、今では送迎つきサービスに慣れた生徒さ

んがどんどん育っていつ。学校を卒業したあと、送迎つきサービスがあるところしか選ばれなくなりつつあるんですよね。でもそれって、障害がある人本人の人生を考えた時に、本当の意味での自立が促進されているのかどうかっていう問題が生まれてしまう。また、過剰なお客様至上主義が利用者さんを金儲けのために囲っている感じがしています。利用者さんが過剰サービスに慣れすぎて、IADL(※日常生活動作(ADL)よりも高度な生活動作)が、本来身につく段階のときに身につかないというのを課題として感じていたりします。

利用者さんにちょっとでも自分で自分の人生を選んでほしいので、嫌なことは嫌って言う力とか、理想を持てる力とか、そのような意思決定力や自己決定力を育むことが今後ますます重要になっていくと思っています。

ありがとうございました。



時計台ショップ店長 吉岡充代子さん

京大生協で最も多くだいが学園の商品を扱っている時計台ショップ。店長の吉岡さんにインタビューしてきました!

時計台ショップでだいが学園の商品はどのように工夫して並べられていますか。

いつも置く場所を決めていて、かつ1番上、目につきやすいところに並べています。また、時計台ショップの1番人気は「抹茶ファッション黒チョコ」なので、それを1番多く仕入れています。抹茶ファッション黒チョコは、「時計台ショップで1番人気ですよ」というポップをつけて、手に取ってもらいやすいような工夫をしています。そして、店舗面積がほかの生協店舗よりも広いので、だいが学園に割くスペースを大きくしています。

だいが学園の利用者の方や商品に対して、どのような印象がありますか。

だいが学園の職員の方と利用者の方が、店舗まで一緒に来て納品してくださるので、「この人たちが作ってくれたんだな」というのを私たち生協職員が実感できています。また、利用者の方の就労を支援するきっかけを商品を通して提供できているのは、良いことだと思っています。

- 時計台ショップで扱っているだいが学園の商品(抜粋)
- ・抹茶ファッション
 - ・オールドファッション
 - ・もっちリング
 - ・トッピングドーナツ
 - ・チョコトッピングドーナツ
 - ・焼きドーナツ
 - ・パイ
 - ・マフィンケーキ
 - ・イーストドーナツ
 - ・メロワッサン ……etc.



今後の希望や、展望について教えてください。

現在、月・水の週2回納品なので、もう少し納品の回数が増えれば良いなと思っています。「できればその日に食べてもらいたい」というのもあって、週3回くらいで入って来てくれると、より多くの方にご利用いただけるかなと感じています。できるだけたくさん並べられるように頑張りたいです。